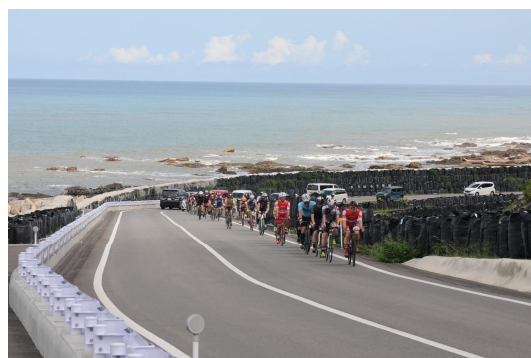


能登半島絶景海道の創造的復興に向けた 基本方針

～〇〇〇〇～

(案)



令和7年10月

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会

【 目 次 】

はじめに	1
能登半島絶景海道の概要	2
○能登半島絶景海道とは	2
○対象エリア	3
能登半島の復興に向けた関連計画	4
○石川県創造的復興プラン	4
○関連市町の復興計画	4
能登半島絶景の特徴	5
○能登半島絶景海道周辺の主な観光資源	5
○能登半島国定公園	6
○世界農業遺産	7
○日本風景街道「奥能登絶景海道」	8
○いしかわ風景街道「能登地域」	8
○いしかわ里山里海サイクリングルート	9
能登の現状	10
○能登4市3町の来訪者が約3割減	10
○観光資源の風景が変化	10
○能登半島地震による「道の駅」での復旧活動	11
○復興に向けたイベントの開催	12

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた4本柱 14

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」 15

1-1. 震災によって出現した新たな資源の活用 15

1-2. 周遊観光につながる取り組みの推進 18

1-3. 取り組みスケジュール 19

2. 人が集まる「道の駅」へ 20

2-1. 施設の復旧・再整備と各種サービス機能の拡充 20

2-2. 「道の駅」のネットワークを活用した事業の展開 21

2-3. 取り組みスケジュール 22

3. 能登を自転車でライド！ 23

3-1. 安全・安心・快適な自転車の走行に向けた環境整備 23

3-2. 魅力的なサイクリングエリアの形成 24

3-3. 取り組みスケジュール 25

4. 風景街道が“おもてなし” 26

4-1. 震災や復興に向けた取り組みを伝える海道の整備 26

4-2. 地域住民等の多様な主体と連携した取り組みの展開 28

4-3. 取り組みスケジュール 29

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会 30

○開催経緯 30

○委員名簿 31

はじめに

○能登半島絶景海道の検討にあたって

今後作成予定

令和7年●月

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会
委員長 藤生 慎

能登半島絶景海道の概要

○能登半島絶景海道とは

里山里海や観光地、震災遺構が点在する半島沿岸部において、国道 249 号や県道大谷狼煙飯田線などの周遊道路（延長：約 250km）を「能登半島絶景海道」として整備するもの。（石川県創造的復興プランより抜粋）

●英語表記

Noto Grand Scenic Coastal Route

能登半島の壮大かつ素晴らしい景色を感じられる、海岸に沿ったルートであることを表現した、「Noto Grand Scenic Coastal Route」を採用。

なお、略称は、能登半島絶景海道のブランドを際立たせる表現として「GRANOTO（グラン（ド）のと）」を採用。

●ロゴマーク

金沢美術工芸大学と連携し、学生からロゴマークを募集し、以下のデザインを能登半島絶景海道のロゴマークに採用しました。

このロゴマークは、能登半島絶景海道全体の一体感を醸成するため、周遊観光、「道の駅」、サイクルツーリズム、風景街道などのあらゆる取り組みにおける道路標識や看板、各種イベントチラシ・ポスター等に共通明示します。

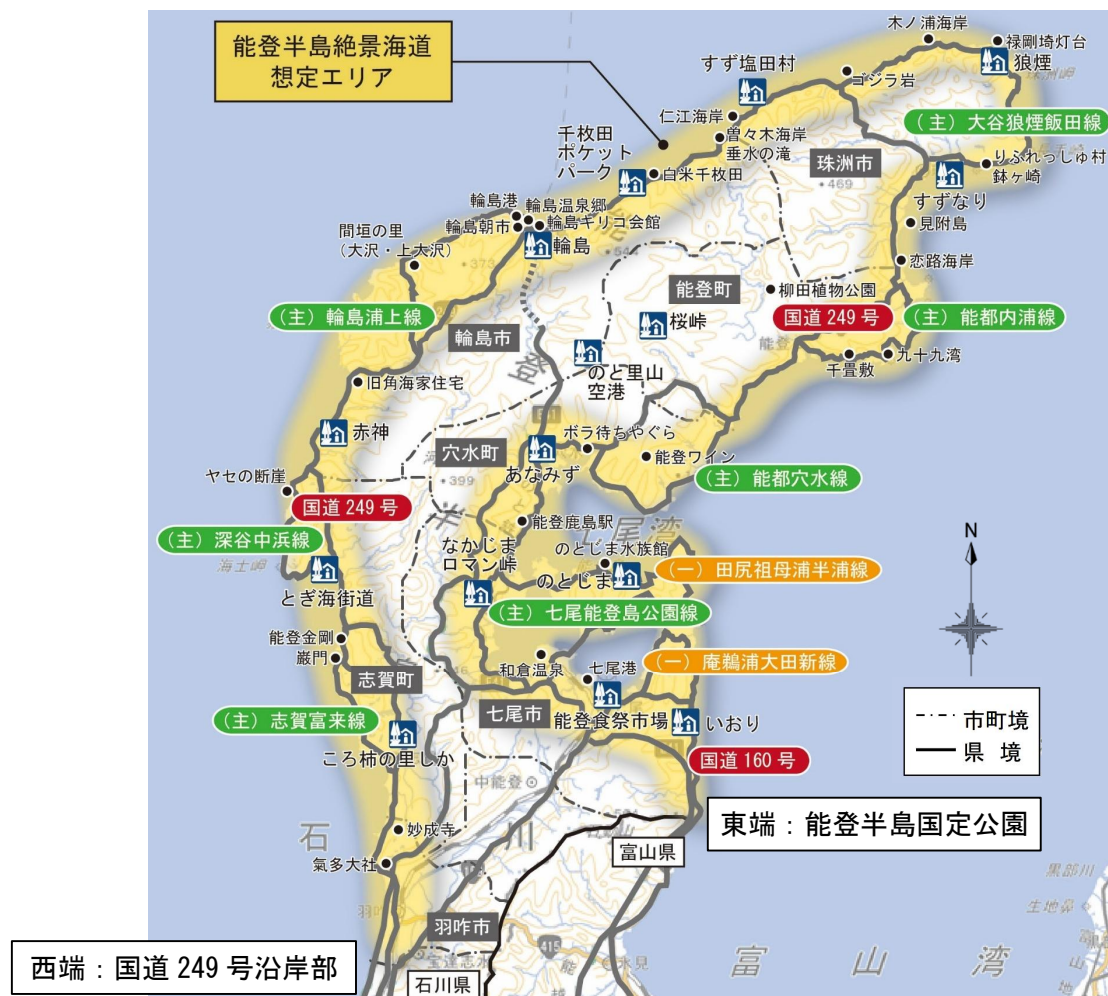


能登半島絶景海道ロゴマーク

○対象エリア

「能登半島絶景海道」は以下の7市町によって形成されます。

・珠洲市 ・輪島市 ・能登町 ・穴水町 ・志賀町 ・七尾市 ・羽咋市



能登半島絶景海道想定エリア（地理院地図をもとに作成）

能登半島の復興に向けた関連計画

○石川県創造的復興プラン（令和6年6月策定、令和7年4月改定）

●創造的復興のスローガン

「能登が示す、ふるさとの未来」

能登が持つ自然や文化の普遍的な価値に新たな価値を融合し、全国そして世界から再び注目を集め、理想とされる能登の未来を創り上げることを目指す。

●創造的復興に向けた取り組み（能登半島絶景海道関連個所抜粋）

【取組】新たな視点に立ったインフラの強靱化

単に直すだけでなく、能登の原風景を守りながら、強くしなやかで使いやすい、経済・社会・環境の面からサステナブルで新たな価値を創造するインフラの実現を目指し、復旧・復興に取り組めます。

◆能登半島絶景海道の整備

里山里海や観光地、震災遺構が点在する半島沿岸部において、国道249号や県道大谷狼煙飯田線などの周遊道路を「能登半島絶景海道」として整備し、道路の強靱化と里山里海との調和を図りながら半島沿岸部の回遊性を向上し、ルート全体の情報発信等を行うことにより、観光資源をつなぎ、能登全域への誘客に努めます。

取 組	短 期（～R7末）		中 期（～R10末）			長 期（～R14末）			
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
（リーディングプロジェクト） 国道249号など 半島沿岸部を 周遊する道路の 整備促進	計画検討								
	●調査、測量、設計 ●工事（一部、災害復旧に併せて工事着手）								

○関連市町の復興計画

- 珠洲市復興計画（令和7年2月策定）
- 輪島市復興まちづくり計画（令和7年2月策定）
- 能登町復興計画（令和7年3月策定）
- 穴水町復興計画（令和6年12月策定）
- 志賀町復興計画（令和6年7月策定）
- 七尾市戦略的復興プラン（令和6年7月策定）
- 羽咋市復興計画（令和6年8月策定）

能登半島絶景海道の特徴

○能登半島絶景海道周辺の主な観光資源

能登半島絶景海道の周辺は、日本の農村漁村の原風景ともいえる「能登の里山里海」の美しい景観に代表される様々な観光資源を有しています。



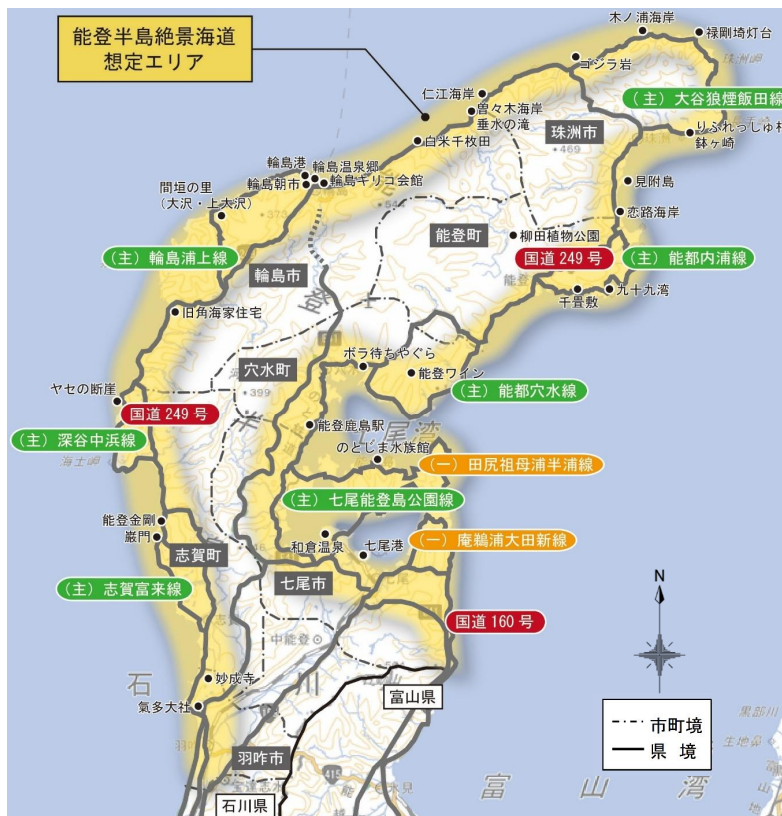
間垣の里 大沢・上大沢（輪島市）



白米千枚田（輪島市）



禄剛崎灯台（珠洲市）



柳田植物公園（能登町）



九十九湾（能登町）



ボラ待ちやぐら（穴水町）



ヤセの断崖（志賀町）



氣多大社（羽咋市）



和倉温泉（七尾市）

写真提供：石川県観光連盟

○能登半島国定公園

能登半島絶景海道の想定エリアは、外浦（日本海側）と内浦（富山湾側）で対照的な景観が楽しめる能登半島国定公園が指定されています。

●能登半島国定公園の概要

- ・ 推定面積：9,672ha
- ・ 指定年月日：1968年5月1日
- ・ 関係自治体：〔石川県〕珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町、七尾市、中能登町、羽咋市、宝達志水町
〔富山県〕氷見市、高岡市
- ・ 指定区域



区域図

（出典：国土情報ウェブマッピングシステム）

○世界農業遺産

能登半島絶景海道が位置する「能登の里山里海」は、日本で初めて世界農業遺産※に認定されました。

●構成市町

「能登の里山里海」は以下の9市町によって構成されています。

- ・珠洲市 ・輪島市 ・能登町 ・穴水町 ・志賀町
- ・七尾市 ・中能登町 ・羽咋市 ・宝達志水町

●「能登の里山里海」の特徴

- ・生物多様性が守られた伝統的な農林漁法と土地利用
- ・里山里海に育まれた多様な生物資源
- ・優れた里山景観
- ・伝えていくべき伝統的な技術
- ・長い歴史の中で育まれた農耕にまつわる文化・祭礼
- ・里山里海の利用保全活動



ボヤ待ちやぐら



のと鉄道能登鹿島駅



白米千枚田



揚げ浜式製塩



キリコ祭り



輪島塗

写真提供：石川県観光連盟

※世界農業遺産：2002年（平成14年）、食料の安定確保を目指す国際組織「国際連合食糧農業機関」によって開始されたプロジェクトで、その目的は、近代化の中で失われつつあるその土地の環境を生かした伝統的な農業・農法、生物多様性が守られた土地利用、農村文化・農村景観などを「地域システム」として一体的に維持保全し、次世代へ継承していくことです。

○日本風景街道「奥能登絶景海道」

禄剛埼灯台や見附島、垂水の滝などの自然景観や、日本で唯一、珠洲市で受け継がれてきた「揚げ浜式製塩」など、多くの観光資源を有する能登半島の先端部を周遊するルートは、日本風景街道「奥能登絶景海道」に指定されています。



○いしかわ風景街道「能登地域」

いしかわ風景街道「能登地域」は、魅力あるいしかわの風景を楽しむ、地域住民と交流できる「おもてなしの道」として整備された道路であり、沿道には「寄り道パーキング」が整備されています。



③木ノ浦（珠洲市）



⑩千畳敷（能登町）



⑫巖門入口（志賀町）



いしかわ風景街道「能登地域」のルート

写真出典：石川の道の駅ガイドマップ

○いしかわ里山里海サイクリングルート

石川県の豊かな里山里海の景観を生かしたサイクリングを推進し、国内外からサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化を図ることを目的として、加賀から能登までの観光地や海岸線をめぐる全7コース(全長約 630km)が設定されています。

サイクリングルートでは、矢羽根型路面表示や案内看板設置等の走行環境の整備、トイレや自転車工具・空気入れなどを貸出するサポート施設の設置等の受入環境の整備が進められています。



いしかわ里山里海サイクリングルート

○能登半島地震による「道の駅」での復旧活動

令和6年1月に発生した能登半島地震では、「道の駅」を活用したヘリ着陸場、防災拠点自動車駐車場、臨時医療施設・電力復旧拠点等の復旧活動が実施されました。



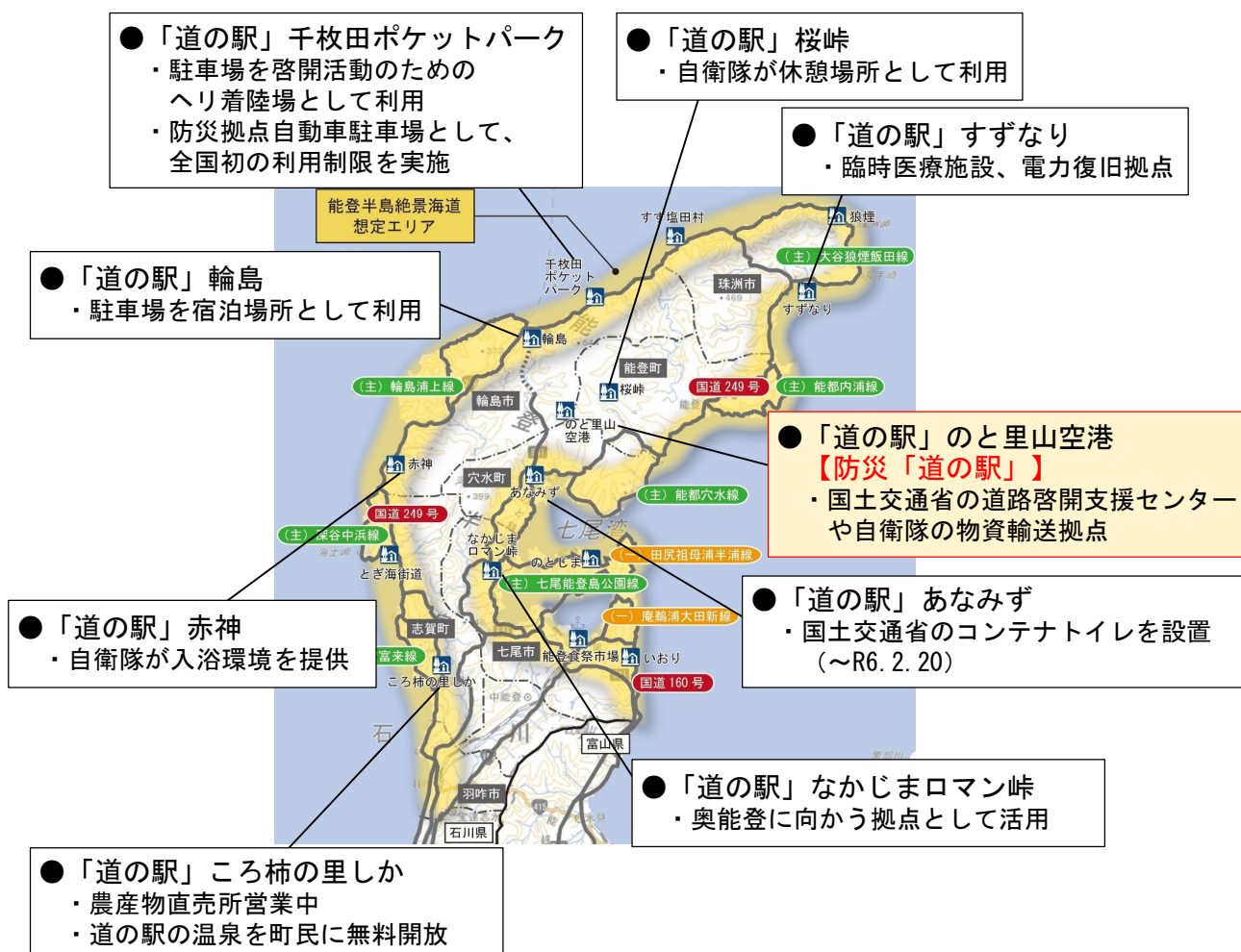
駐車場をヘリポートとして活用
「道の駅」千枚田ポケットパーク



災害対応車両の集結
「道の駅」のと里山空港



防災用コンテナ型トイレ
「道の駅」あなみず



○復興に向けたイベントの開催

能登半島では、復興に向けて様々なイベントが開催されています。

●出張輪島朝市

日本三大朝市のひとつである「輪島朝市」は、令和6年1月の地震によって大きな被害を受けましたが、令和6年3月以降、全国各地で「出張輪島朝市」が開催されています。



出張輪島朝市の様子

写真提供：石川県観光連盟

●「道の駅」リレーイベント

能登半島の美しい自然や独特の文化を体験できる絶景スポットや地震による隆起海岸など新たな絶景スポットを県内外に PR し、能登地方に人を呼び込むため、北陸管内の「道の駅」を対象としたリレーイベントが開催されています。

令和7年4月下旬に開催された「道の駅」千枚田ポケットパーク・「道の駅」めぐみ白山では、能登半島絶景海道の魅力を伝えるポスターやメモリアルパーツ（震災遺構）の展示等が行われ、大いに賑わったイベントとなりました。



ポスターやメモリアルパーツ（震災遺構）の展示の様子

●富山から石川へ復興応援ライド

令和7年4月20日（日）に「富山湾岸サイクリング 2025」の併催イベントとして、富山県射水市の海王丸パークを発着点に石川県内の七尾市、羽咋市、中能登町を経由する約120kmのコースで「富山から石川へ復興応援ライド」が開催されました。



「富山から石川へ復興応援ライド」の様子

●ツール・ド・のと 400 特別企画「奥能登復興サイクル 100」

能登半島地震、奥能登豪雨からの復旧・復興が進んでいる奥能登の「いま」について、サイクリングを通じて感じていただく「奥能登復興サイクル 100」が令和7年9月15日（月・祝）にツール・ド・のと400の特別企画として能登半島絶景海道の一部で開催されました。



スタート地点（輪島キリコ会館）



仮設道路を走行する参加者

●今しか見られない能登ツアー

能登半島地震が発生してから今日までの奥能登の道の復興について、国道249号（能登半島絶景海道の外浦）を中心にめぐる「今しか見られない能登ツアー」が令和7年8月22日（金）に開催されました。



ツアーの様子

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた4本柱

能登半島の復興に向けた関連計画や能登半島絶景海道の特徴、能登の現状を踏まえ、基本的な方針として、下記の4つの柱を設定しました。

これらの柱に基づき、能登半島絶景海道の創造的復興を進めていきます。

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

2. 人が集まる「道の駅」へ

3. 能登を自転車でライド！

4. 風景街道が“おもてなし”

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

能登の絶景、豊かな自然の恵み、守り伝えられてきた祭礼・伝統技術など、魅力たっぷりの能登。インバウンドを見据えた多言語対応を進めるなど、周遊観光の促進を目指します。

1-1. 震災によって出現した新たな資源の活用

震災前からの能登ならではの観光資源に加え、震災によって新たに出現した絶景・メモリアルパーツ（震災遺構）等を活用し、能登半島の魅力向上と周遊観光の促進に向けた様々な取り組みを推進します。

【考えられる取り組み（案）】

ハード面

- ・絶景を眺望できるパーキング等の整備
- ・奥能登ドローン構想の支援 等

ソフト面

- ・新たな絶景、メモリアルパーツ（震災遺構）の発掘
- ・今しか見られない能登ツアー開催支援
- ・奥能登国際芸術祭の開催支援
- ・地域のニーズに対応した隆起海岸等の新たな活用の検討 等

●取り組みの概要

・絶景を眺望できるパーキング等の整備

地震で被災した寄り道パーキングの復旧工事に加えて、新たな絶景スポットや震災遺構について、集客スポットとしての整備を行います。

また、パーキング等は、震災前後の整備背景やストーリー等に配慮したデザインの検討を行います。



新たなパーキング等の整備イメージ

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

・奥能登ドローン構想の支援

ドローンによる物流ネットワークの構築や、ドローンタクシー・空飛ぶ車等の取り組みを支援します。



大型ドローンイメージ

・新たな絶景、メモリアルパーツ（震災遺構）の発掘

海岸隆起などで景観が変化した箇所を新たな絶景スポット、姿が変わってしまった名所などはメモリアルパーツ（震災遺構）として、能登の新たな魅力の情報発信を行います。（取り組み例：能登絶景『美岩』の選定）

また、東日本大震災では、被災した建物をそのまま残すほかに、復興のために使用した建造物も震災遺構として残しており、能登半島地震においても、現在、復興工事で使用している建造物を残すことを検討していきます。

メモリアルパーツ（震災遺構）は、震災前後の状況（ストーリー）等を伝承するために案内看板の設置を検討するとともに、メモリアルパーツ（震災遺構）の保存にあたっては、屋根設置等の長期保存への配慮を検討していきます。

併せて、地震によって風景が大きく変化した新たな絶景、メモリアルパーツ（震災遺構）は、震災前と現在の風景を比較できるコンテンツ（AR 技術等）を検討します。（詳細は次ページ参照）

・今しか見られない能登ツアー開催支援

能登半島地震や奥能登豪雨からの復興状況等を発信するため、能登復興事務所職員等が解説しながら能登半島絶景海道の外浦における復旧道路や能登の観光地をめぐるツアーを開催し、復興状況等をPRしていきます。



ツアーの様子

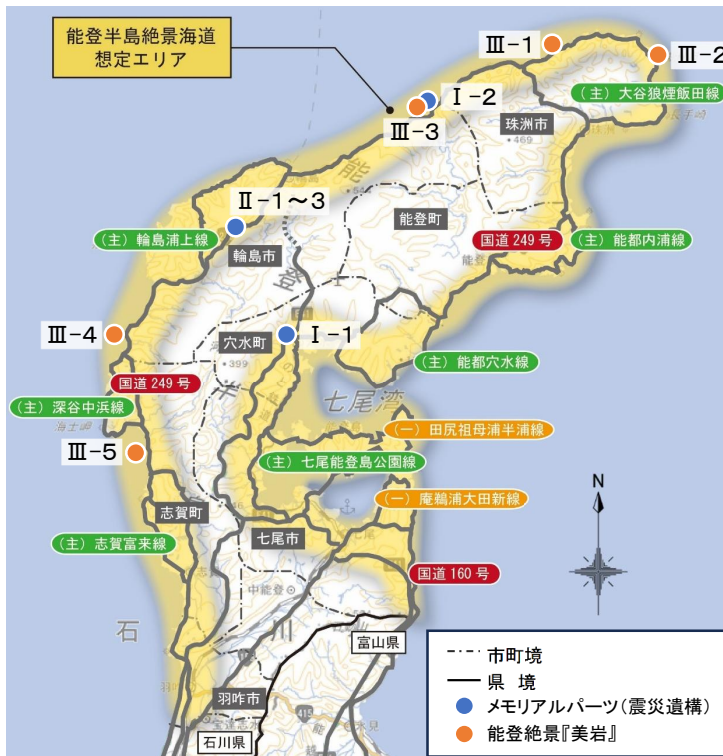
・奥能登国際芸術祭の開催支援

能登半島地震により被災した珠洲市内の道路の復旧や道路使用許可等、奥能登国際芸術祭の開催に向けた支援を行います。

・地域のニーズに対応した隆起海岸等の新たな活用の検討

今後、地域のニーズを踏まえ、隆起海岸の利用に対する許認可申請窓口の一本化等、隆起海岸の利活用に対する支援を検討します。

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」



I. 令和6年能登半島地震

メモリアルパーツ（震災遺構）

- I-1 粉々に砕けたフィンガージョイント（穴水町）
- I-2 倒壊した窓岩ポケットパークの東屋（輪島市）

II. 令和6年奥能登豪雨

メモリアルパーツ（震災遺構）

- II-1 崩落土砂により支柱が破断したトンネル情報板（輪島市）
- II-2 崩落土砂により変形した案内標識板（輪島市）
- II-3 崩落土砂により変形した工事看板（輪島市）

III. 能登絶景『美岩』

- III-1 ゴジラ岩（珠洲市）
- III-2 能登双見岩（珠洲市）
- III-3 窓岩（ハート岩）（輪島市）
- III-4 権現岩（トトロ岩）（輪島市）
- III-5 機具岩（志賀町）

メモリアルパーツ（震災遺構）、新たな絶景 位置図



1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

1-2. 周遊観光につながる取り組みの推進

各種イベントの開催等を通じて、能登半島への来訪を促進するとともに、魅力的な観光資源へのアクセス道路の復旧や交通手段・休憩施設の整備、飲食店等の情報発信を強化し、来訪者の能登半島への滞在時間の増加を図ります。

また、ニーズに合わせたツアーの提案や多言語化、「GRANOTO(グラン(ド)のと)」を活用した海外へのプロモーション等への対応を促進します。

【考えられる取り組み(案)】

ハード面

- ・周遊観光道路の復旧・整備
- ・標識、案内看板へのロゴマーク等の記載 等

ソフト面

- ・石川県観光連盟デジタルマップ等の活用
- ・周遊モデルルートの設定 等

●取り組みの概要

・周遊観光道路の復旧・整備

「能登半島絶景海道」の想定エリアにおける国道249号や県道大谷狼煙飯田線などの周遊観光道路に加え、観光資源へのアクセス道路についても復旧・整備を行い、周遊観光の促進を図ります。

・標識、案内看板へのロゴマーク等の記載

能登半島絶景海道内の標識や案内看板にロゴマーク等を記載することで、観光資源やルートの適切な誘導を行います。

また、ロゴマーク等を記載する際は、他施策におけるロゴマークと調整を図った上で、わかりやすい表示方法を検討します。

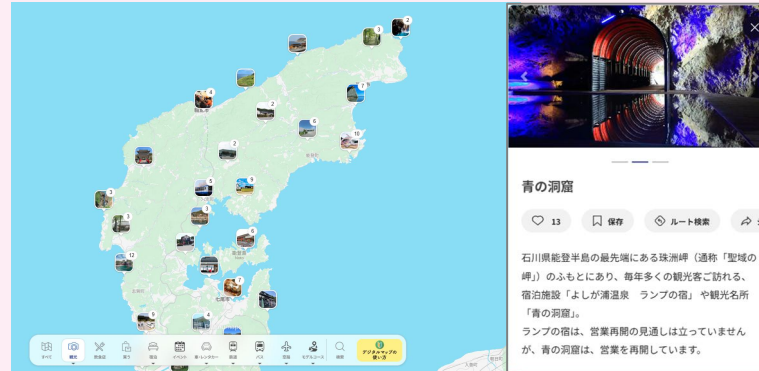


標識・案内看板イメージ

1. 能登の魅力を「ぐるっと周遊」

・石川県観光連盟デジタルマップ等の活用

石川県観光連盟ホームページで令和6年 12 月から公開されている「今行ける能登」デジタルマップ等を活用し、周遊モデルルートの設定・地図への表示、通れるマップや工事の進捗状況、能登の観光スポットの情報発信を行います。



観光デジタルマップ
(石川県観光連盟デジタルマップホームページ)

・周遊モデルルートの設定

来訪者の年代や移動手段等のターゲットごとにぐるっと周遊できるモデルルートを設定し、それぞれのスポットや目的地の魅力等の情報発信を行います。

1－3. 取り組みスケジュール

取り組み名	短期		中・長期 R 9～	想定される 実施主体
	R 7	R 8		
絶景を眺望できるパーキング等の整備				各道路管理者
奥能登ドローン構想の支援				国・県・市町 民間
新たな絶景、メモリアルパーツ（震災遺構）の発掘				国・県・市町
今しか見られない能登ツアー開催支援				国・県・市町
奥能登国際芸術祭の開催支援				国・県・市町
地域のニーズに対応した隆起海岸等の新たな活用の検討				県・市町
周遊観光道路の復旧・整備				各道路管理者
標識、案内看板へのロゴマーク等の記載				各道路管理者
石川県観光連盟デジタルマップ等の活用				県
周遊モデルルートの設定				観光団体

2. 人が集まる「道の駅」へ

いまや旅の目的地から地域づくりの拠点へと進化する「道の駅」。観光拠点としての環境整備や地域の特産品の販売など、人の集うに賑わいの場をつくりま

す。

2-1. 施設の復旧・再整備と各種サービス機能の拡充

震災等で被災した「道の駅」の施設復旧や再整備を推進します。

また、地域のにぎわい創出に寄与するサービス機能の拡充を検討し、魅力的な施設づくりによる交流人口の拡大を図ります。

【考えられる取り組み（案）】

ハード面

- ・「道の駅」の機能強化
- ・サイクリスト、モーターサイクルライダー等サポート施設の整備
- ・メモリアルパーツ（震災遺構）の展示 等

●取り組みの概要

・「道の駅」の機能強化

非常電源や雨水貯留槽、自立型トイレの整備などの施設の強靱化に加えて、ドローンや自動運転車など、様々な移動のモビリティ・ハブとしての活用・整備を推進します。



遠隔型自動運転実証実験
(写真：国土交通省)

・サイクリスト、モーターサイクルライダー等サポート施設の整備

「道の駅」等の施設に、サイクリスト、モーターサイクルライダー等の受入環境（自転車やサイクルラック、工具、空気入れ等を貸し出す施設、駐輪スペースの拡充等）の整備を検討します。



サポート施設の様子（写真：石川県）

2. 人が集まる「道の駅」へ

・メモリアルパーツ（震災遺構）の展示

多くの方に被災状況や復興への歩みを伝えるため、集客施設である「道の駅」を中心としたメモリアルパーツ（震災遺構）の展示を検討します。



「道の駅」に隣接する東日本大震災津波伝承館の展示物
（「道の駅」高田松原）

2-2. 「道の駅」のネットワークを活用した事業の展開

「道の駅」の交通結節点としての長所を活かし、各地の「道の駅」でイベントを開催するなど、「道の駅」のネットワークを活かした拠点づくりに向けた取り組みを推進します。

【考えられる取り組み（案）】

ソフト面

- ・「道の駅」リレーイベント開催
- ・特産物の販路開拓 等

●取り組みの概要

・「道の駅」リレーイベント開催

令和6年能登半島地震等による甚大な被害の実情と教訓を伝承するとともに、県内外から奥能登地域に人を呼び込み、被災地に新たな交流を創出し、能登の力強い復興を支援することを目的に、北陸管内の「道の駅」を対象としたリレーイベントを開催します。



イベントの様子
（「道の駅」千枚田ポケットパーク）

2. 人が集まる「道の駅」へ

・物産品の販路開拓

「道の駅」や日本風景街道のネットワークを活用し、地方特産物の販路開拓に向けた取り組みを支援します。



特産物の販路開拓イメージ（出典：国土交通省）

2-3. 取り組みスケジュール

取り組み名	短期		中・長期 R 9 ～	想定される 実施主体
	R 7	R 8		
「道の駅」の機能強化				道路管理者
サイクリスト、モーターサイクルライダー等サポート施設の整備				国・県・市町 民間
メモリアルパーツ（震災遺構）の展示				国・県・市町 民間
「道の駅」リレーイベント開催				国
特産物の販路開拓				民間

3. 能登を自転車でライド！

3. 能登を自転車でライド！

「能登の里山里海を自転車で走るのは楽しい！」能登の魅力を体験できることを国内のみならず海外へ発信し、サイクルツーリズムを盛り上げます。

3-1. 安全・安心・快適な自転車の走行に向けた環境整備

自転車の走行環境の整備、サポート施設での受入環境の整備、観光に訪れた方が気軽に自転車を利用できるサービスの充実などにより、車では訪れにくいエリアや観光資源への周遊観光を促進します。

【考えられる取り組み（案）】

ハード面

- ・自転車通行空間の整備
- ・サイクリスト、モーターサイクルライダー等サポート施設の整備（再掲） 等

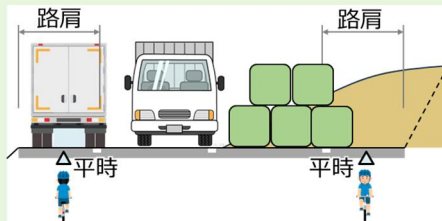
ソフト面

- ・多言語版ルートマップの作成 等

●取り組みの概要

・自転車通行空間の整備

平時は自転車通行空間、災害時には大型車のすれ違いが可能な幅の確保（幅広路肩）や分かりやすい案内表示など、自転車の快適な走行環境の整備を推進します。



幅広路肩の整備イメージ



矢羽根型路面表示
（加賀温泉駅前）



路面表示によるルート案内
（七尾市）

・多言語版ルートマップの作成

外国人利用者への対応や国外への情報発信強化、ナショナルサイクルルート指定に向けて、英語に加えて中国語（繁体字）等の多言語版ルートマップを作成します。



いしかわり山里海サイクリングルート
英語版ルートマップ（写真：石川県）

3. 能登を自転車でライド！

3-2. 魅力的なサイクリングエリアの形成

震災後、規模の縮小や中止を余儀なくされている“ツール・ド・のと”を代表とする能登地域の各種サイクルスポーツイベントの通常開催に向けた取り組みを推進します。

また、ナショナルサイクルルート指定や自転車の快適な走行環境の整備、鉄道会社との連携など、サイクリストに向けた様々な事業を展開し、サイクリストに選ばれる魅力的な能登半島のサイクリングエリア形成に取り組みます。

【考えられる取り組み（案）】

ソフト面

- ・サイクルスポーツイベント（ツール・ド・のと等）の支援
- ・サイクルトレインの支援
- ・いしかわ里山里海サイクリングルートのナショナルサイクルルート指定を目指した取り組みの推進
- ・絶景海道におけるモデルコース（難易度、ターゲット別）の設定 等

●取り組みの概要

・サイクルスポーツイベント（ツール・ド・のと等）の支援

震災後、規模の縮小や中止を余儀なくされている、ツール・ド・のとを代表とする能登地域の各種サイクルスポーツイベントの再開や更なる賑わいに向けて支援します。



ツール・ド・のと



トライアスロン珠洲大会

（写真提供：石川県観光連盟）

・サイクルトレインの支援

サイクリングを目的に能登を訪れる方を対象としたサイクルトレインの実施について、鉄道会社の取り組みを支援します。



北陸鉄道 サイクルトレイン

（写真：石川県）

3. 能登を自転車でライド！

・いしかわ里山里海サイクリングルート of ナショナルサイクルルート指定を目指した取り組みの推進

いしかわ里山里海サイクリングルートについて、基幹ルートの設定や走行環境（自転車通行空間等）、受入環境（サポート施設）の整備等を推進し、ナショナルサイクルルートの指定を目指します。

・絶景海道におけるモデルコース（難易度、ターゲット別）の設定

サイクリスト、モーターサイクルライダーが自分のレベル等に応じたルートを走行できるように、絶景海道におけるモデルコース（難易度、ターゲット別）を設定します。

3-3. 取り組みスケジュール

取り組み名	短期		中・長期 R 9 ~	想定される 実施主体
	R 7	R 8		
自転車通行空間の整備				国・県・市町
サイクリスト、モーターサイクルライダー等サポート施設の整備（再掲）				県・市町・民間
多言語版ルートマップの作成				県
サイクルスポーツイベント（ツール・ド・のと等）の支援				国・県
サイクルトレインの支援				県
いしかわ里山里海サイクリングルート of ナショナルサイクルルート指定を目指した取り組みの推進				県
絶景海道におけるモデルコース（難易度、ターゲット別）の設定				県・市町

4. 風景街道が“おもてなし”

奥能登の旅から人と風景をつなぐ風景街道。魅力あるいしかわの風景やメモリアルパーツ（震災遺構）を活用した観光イベントの実施や美化活動など地域住民が参加するみちづくりを進めます。

4-1. 震災や復興に向けた取り組みを伝える海道の整備

地盤隆起やメモリアルパーツ（震災遺構）など震災で姿を変えた能登半島の風景や変わらない自然の豊かさ、復興に向けた取り組みの記録など、ストーリー性のある環境整備を推進するほか、震災への理解や防災意識の向上に向けた取り組みを検討します。

【考えられる取り組み（案）】

ハード面

- ・能登半島国定公園の拡張支援
- ・絶景を眺望できるパーキング等の整備（再掲） 等

ソフト面

- ・オリジナルグッズの企画・販売
- ・観光ガイド（震災の語り部）等による震災の記憶の伝承
- ・トキをシンボルとした地域活性化の推進
- ・能登駅伝復活の支援 等

●取り組みの概要

・能登半島国定公園の拡張支援

震災によって新たに出現した海岸隆起や新たな絶景を地域資源として、それらの利活用を促進します。

また、能登半島国定公園の拡張などを通じて、能登地域における生物多様性の保全に向けた取り組みを支援します。

・オリジナルグッズの企画・販売

能登半島絶景海道の魅力発信や活動資金の確保に向けて、ロゴマーク等を活用したオリジナルグッズの企画・販売を支援します。



奥能登岬みちづくり協議会によるオリジナルグッズの販売
（写真：奥能登岬みちづくり協議会）

4. 風景街道が“おもてなし”

・観光ガイド（震災の語り部）等による震災の記憶の伝承

震災遺構の紹介や震災当日この場所で何が起こったのかを伝える案内ガイドの養成や配置、ガイドツアーなど、震災から復興への歩みが感じられる取り組みを支援します。



震災語り部によるガイドの様子
(岩手県 高田松原津波復興記念公園)

・トキをシンボルとした地域活性化の推進

2026 年度能登地域でのトキ放鳥に向けて、生息環境の整備促進やトキとの共生にむけた社会環境の整備を支援します。

また、トキ放鳥を契機とした地域活性化に向けて、トキツーリズムなど交流人口の拡大に資する取り組みを支援します。

・能登駅伝復活の支援

能登のすばらしさを国内外に発信し、県内外の学生に復興の過程を知ってもらい、学生と被災者の皆さんが触れ合う機会を創出し、能登半島絶景海道を活用した記録より記憶に残る「能登駅伝」の復活を支援します。

4. 風景街道が“おもてなし”

4-2. 地域住民等の多様な主体と連携した取り組みの展開

自治体や「道の駅」、道路協力団体・地域活動団体など、能登半島で活動する多様な主体と連携し、風景街道の創出に向けた取り組みを推進します。

【考えられる取り組み（案）】

ハード面

- ・ 標識、案内看板へのロゴマーク等の記載（再掲） 等

ソフト面

- ・ 各種団体との協力体制構築
- ・ 復興イベントの開催
- ・ 民間企業との連携による新たな取り組みの推進 等

● 取り組みの概要

・ 各種団体との協力体制構築

能登半島絶景海道の活動の活性化及び活動の後継者や将来の担い手確保・新たな日本風景街道の登録、サイクルツーリズムとの連携・促進に向けて、能登地方の地域活動団体との協力体制を構築します。

また、地域活動団体の情報発信ツール（デジタルマップ等）での案内等を通じて、風景街道の一体感の醸成を図ります。



奥能登岬みちづくり協議会（珠洲市）
活動の様子

（写真：奥能登岬みちづくり協議会）

・ 復興イベントの開催

サイクリングイベントなど、能登半島絶景海道の魅力を全身で感じられるイベントの企画・開催を地域の団体と連携し推進します。



富山から石川へ復興応援ライド（開催日：令和7年4月20日）



・ 民間企業との連携による新たな取り組みの推進

民間企業と連携したイベント、ツアー、グッズ、コンテンツ等の新たな取り組みを推進し、能登の復興状況を県内外にPRしていきます。

4. 風景街道が“おもてなし”

4-3. 取り組みスケジュール

取り組み名	短期		中・長期 R 9 ~	想定される 実施主体
	R 7	R 8		
能登半島国定公園の拡張支援				県
絶景を眺望できるパーキング等の整備（再掲）				国・県・市町
オリジナルグッズの企画・販売				民間
観光ガイド（震災の語り部）等による 震災の記憶の伝承				民間
トキをシンボルとした地域活性化の推進				県・市町・民間
能登駅伝復活の支援				県
標識、案内看板へのロゴマーク等の記載（再掲）				国・県・市町
各種団体との協力体制構築				国・県・市町
復興イベントの開催				県・市町・民間
民間企業との連携による新たな取り組み の推進				県・市町・民間

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会

○開催経緯

開催日	検討内容
令和7年2月 3日（月）	第1回能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会 ・ 設立趣意及び規約（案）について ・ 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討 ・ 今後の進め方（案）
令和7年5月16日（金）	第2回能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会 ・ 規約（案）について ・ 能登地域のニーズと取り組みの方向性 ・ 考えられる取り組み（案） ・ 取り組みスケジュール（案） ・ 今後の予定
令和7年7月31日（木）	第3回能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会 ・ 創造的復興に向けた取り組み（協議） ・ 新たな取り組みの状況（報告） ・ その他
令和7年10月1日（水）	第4回能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会 ・ 新たな取り組みの状況 ・ ロゴマークの選定 ・ 基本方針案の意見交換
令和7年12月8日（月）	第5回能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会 ・ 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針の決定と公表 ・ 石田東生先生講演会「能登半島絶景海道の創造的復興に向けた持続可能な地域づくり」

○委員名簿

(敬称略、順不同)

	氏 名	所属等
委員長	藤生 慎	金沢大学 教授
有識者委員	片桐 由希子	金沢工業大学 准教授
	山中 英生	徳島大学 研究部長
	刀祢 秀一	奥能登岬みちづくり協議会 会長
	臼井 純子	北陸風景街道交流会議 アドバイザー
	竹内 政則	石川県観光連盟 副理事長
行政委員	石川県 土木部 道路建設課 課長	
	石川県 土木部 道路整備課 課長	
	石川県 文化観光スポーツ部 観光戦略課 課長	
	七尾市 建設部 土木課 課長	
	輪島市 建設部 土木課 課長	
	珠洲市 環境建設課 課長	
	羽咋市 産業建設部 部長 兼 地域整備課 課長	
	志賀町 まち整備課 課長	
	穴水町 地域整備課 課長	
	能登町 建設水道課 課長	
	国土交通省 北陸地方整備局 道路部 地域道路調整官	

アドバイザー

氏 名	所属等
石田 東生	NPO法人日本風景街道コミュニティ 代表理事

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針

令和7年●月 作成

発行 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会

編集 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会 事務局

石川県 土木部 道路建設課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

電話番号：076-225-1111（代）

石川県 土木部 道路整備課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

電話番号：076-225-1111（代）

石川県 奥能登土木総合事務所

〒928-0001 石川県輪島市河井町22部1-1

電話番号：0768-22-0567（代）

石川県 中能登土木総合事務所

〒926-8586 石川県七尾市本府中町ソ27番9

電話番号：0767-52-5100（代）

国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所

〒926-0046 石川県七尾市神明町口12番地2

NTT七尾ビル3階

電話番号：0767-52-4511（代）

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

〒920-8648 石川県金沢市西念4丁目23番5号

電話番号：076-264-8800（代）